旭川市報道依頼

各報道機関　様

発表日	平成３０年８月７日
発信課	文化振興課大雪クリスタルホール
担当者	花香　純夫
連絡先	電　話　６９－２０００
	ＦＡＸ　６９－２００１
	E-mail　crystalhall@city.asahikawa.lg.jp

分　　類	（イベント･行事）　募集　契約･入札　会議･説明会　その他 （該当する分類を囲むこと。）
日　　程	平成３０年１０月１１日（木）　１８：３０開演
発表項目 （行事名）	大雪クリスタルホール自主文化事業 三浦一馬＆村治奏一　スーパー・デュオ
概　　要 （趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。）	バンドネオン（三浦一馬）とギター（村治奏一）という珍しい組み合わせで表現される変幻自在の音楽，息の合ったコンビがとにかく魅せます。 標記公演を広く市民への周知のため，報道くださるようお願い致します。 日時：平成３０年１０月１１日（木）１８：００開場，１８：３０開演 場所：旭川市大雪クリスタルホール音楽堂 曲目：ドビュッシー作曲　「レントより遅く」 J.S.バッハ作曲　「シャコンヌ」（ギターソロ） ガルデル作曲　「想いの届く日」（バンドネオンソロ） ピアソラ作曲　「タンゴの歴史」より　ほか （曲目は変更になる場合があります。） 料金：一　般　４，０００円 ６５歳以上の方，各種障害者手帳をお持ちの方　３，５００円 小学生から大学生まで　２，０００円 ※全席指定，当日券は各５００円増し プレイガイド： カワイ旭川ショップ　TEL　２２－７４６１ 玉光堂イオンモール旭川駅前店　TEL　７３－８８０１ ヤマハミュージックリテイリング旭川店　TEL　２７－０６２０ ポテトサービスセンター　TEL　６７－２２７７ 旭川市民文化会館　TEL　２５－７３３１ 旭川市大雪クリスタルホール　TEL　６９－２０００
添付資料	（有）・無（有・無のいずれかを囲むこと。）　チラシＰＤＦ（裏，表） ※　有の場合，資料の内容を記入すること。なお，別途冊子等の配付を希望する場合は，その旨記入すること。
報道（取材）に当たってのお願い	チケットの発売開始は８月１１日（土）からです。

旭川市大雪クリスタルホール自主文化事業

三浦一馬&村治奏一

Kazuma Miura　Soichi Muraji

SUPER DUO

2018年10月11日(木)

開演18:30（開場18:00）

旭川市大雪クリスタルホール音楽堂

旭川市神楽3条7丁目

プログラム

ドビュッシー作曲…「レントより遅く」

J.S.バッハ作曲……「シャコンヌ」（ギターソロ）

ガルデル作曲……「想いの届く日」（バンドネオンソロ）

ピアソラ作曲……「タンゴの歴史」より　ほか

※都合により演奏曲目が変更になる場合があります。

全席指定　◆一般 4,000円◆シルバー・ハートフル3,500円　◆学生（小学生～大学生）2,000円　※当日券各500円増

※シルバーは65歳以上の方，ハートフルは各種障害者手帳をお持ちの方が対象となります。※ホールメイトは各10%割引となります。

プレイガイド/カワイ旭川ショップ(0166)22-7461 玉光堂イオンモール旭川駅前店(0166)73-8801 ヤマハミュージックリテイリング旭川店(0166)27-0620 ポテトサービスセンター(0166)67-2277 旭川市民文化会館(0166)25-7331 旭川市大雪クリスタルホール(0166)69-2000

主催・チケット予約・お問合せ 旭川市大雪クリスタルホール 旭川市神楽3条7丁目 電話0166-69-2000　共催 北海道新聞社旭川支社

●未就学のお子様の個人席は御遠慮願います。無料託児を御利用ください。●託児希望の方は2018年9月30日(日)までにお申し込みください。●車椅子及び介助の必要な方は事前にお申し付けください。●無料駐車場あります。

旭川市大雪クリスタルホール自主文化事業

三浦一馬＆村治奏一
SUPER DUO

出演者プロフィール

©Shigeto Imura

©Shigeto Imura

三浦一馬（バンドネオン）

1990年生まれ。10歳よりバンドネオンを始め，小松亮太に師事。
2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い，自作CDの売上でアルゼンチンに渡航，現在に至るまで師事。
2007年，井上道義・神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演で，マルコーニのバンドネオン協奏曲《Tangos Concertantes》を日本初演。このオーケストラ・デビュー以降，国内の主要オーケストラと共演を重ねている。
2008年10月，イタリアで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初，史上最年少で準優勝を果たす。
2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し，マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメットら世界的名手と共演，大きな話題と絶賛を呼んだ。
2012年には師のマルコーニと東京・兵庫・名古屋で共演を果たし，白熱した演奏で聴衆を沸かせた。
2015年出光音楽賞（2014年度）を受賞。
2016年はデビュー10周年を迎え，恩師ネストル・マルコーニとの共演で再び日本ツアーを開催。7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でルイス・バカロフ作曲の「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。
ビクターエンタテインメント（株）より4枚のCDをリリース。
2017年自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスツ」を結成，同年11月には埼玉県「久喜市くき親善大使」に就任し，ますます活動の幅を広げる。

村治奏一（ギター）

1997年クラシカル・ギター・コンクール，98年スペイン・ギター音楽コンクール，第41回東京国際ギターコンクールに続けて優勝。
99年より米国の総合芸術高校ウォールナット・ヒル・スクールに留学し，ギターをニューイングランド音楽院でデイヴィッド・ライズナー，エリオット・フィスクに師事。2003年同高校音楽科を首席で卒業し，同時期にビクター・エンタテインメントよりリリースした『シャコンヌ』がレコード芸術誌の特選盤に選ばれる。
NHK「トップランナー」，テレビ朝日「題名のない音楽会」をはじめテレビ・ラジオに多数出演。
10年にはNHK・BS「街道てくてく旅～熊野古道をゆく～」のテーマ曲《コダマスケッチ》を作曲・演奏。
12年秋，「トヨタ・クラシックス・アジアツアー2012」のソリストとして抜擢され，ウィーン室内管弦楽団と共にアジア5か国でのコンサートツアーを成功させた。13年，S&R財団ワシントン・アワード受賞。
14年，初のコンチェルトアルバム『コラージュ・デ・アランフェス』（平成26年度文化庁芸術祭参加作品）をキングレコードよりリリース。
16年，自身でプロデュースしたソロアルバム『Off the Record』をテレビマンユニオンよりリリース。これまでに内外のオーケストラと多数共演。